

学ぼう！野菜のこと 農業のこと

給食協会では食育の一環として、北九州市の農業や学校給食に対する理解を深めてもらうため、収穫体験を行っています。

今回は、6月22日（火）に八幡西区竹末小学校5年生29名が、若松区有毛の永住さんの畑でじゃがいもの収穫体験を行いました。



永住さんから収穫の仕方を教えてもらいます。



間隔を空けて収穫開始!!



少し掘っただけでじゃがいもが出てきました。



機械掘り!!みんなが掘ったあとでもじゃがいもがゴロゴロにビックリ!



交流会は畑で行いました。永住さんにじゃがいも作り等のお話をさせていただきました。

昨年は新型コロナウイルスの影響で収穫体験等の行事は全て中止となりました。今年は、緊急事態宣言が発令され予定より遅れましたが、天候にも恵まれて絶好の収穫日和の中、実施することができました。

交流会では、生産者の永住さんがじゃがいも作りで大切にしている事は、「種イモとなるじゃがいもの芽を残すように25gに切りわけていく事」と言われていました。昨年度からは、12月から2月の間に学校給食で使用出来るじゃがいもづくりにも挑戦されています。今年度も学校給食に登場する予定ですので楽しみにしてください。